



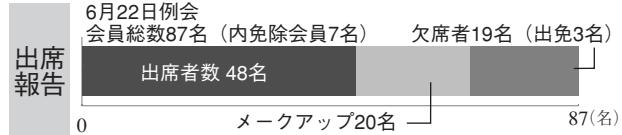
No. 2940

第3258回 例会
平成 23 年 7 月 6 日DISTRICT 2500
OBHIHIRO
ROTARY CLUB2011-12年度
国際ロータリーのテーマ

方針

ロータリーを学び
共に楽しもう

会長 加藤 維利

Reach Within to Embrace Humanity
ここの中を見つめよう 博愛を広げるために■プログラム
「会長・副会長就任挨拶」

1. 会長方針挨拶

加藤 維利 会長

始めに、カルヤン・パネルジーRI会長と増田一雄（旭川西）ガバナーの今年度方針を伝え、私の今年度の考え方をお話しようと思います。

1905年ポール・ハリス達4人により産声を上げたロータリー運動は、その志と共に感したクラブが次々と生まれ、15年後の1920年10月20日には米山梅吉氏と当時三井物産ニューヨーク支店長の福島喜三次氏により東京ロータリークラブが創立されました。更にその15年後の1935年3月15日には札幌ロータリークラブをスポンサークラブとして、チャーターメンバー19名で帯広ロータリークラブは誕生しました。5月31日には国際ロータリー認証番号No.3820を受け、日本のロータリークラブの設立順位では16番目、北海道では5番目に創立されたクラブでした。当時の帯広市は市制施行後2年目、人口は3万2千人程度の小さな地方都市に過ぎませんでした。

以来、今年度で77周年を迎えるにあたり当時の先輩たちの志と理念に対する思いに深い感銘を覚えると共に、77年に渡る奉仕の理念を引き継いでいる、帯広ロータリークラブの歴史と伝統の重みを、今更ながら痛切に感じようとは思いもよりませんでした。ここに来て日頃の勉強不足を後悔しているところです。

さて、今年度国際ロータリーのカルヤン・パネルジー会長は1年間のテーマを「ここの中を見つめよう 博愛を広げるために」とかかけました。

まず、自分自身を見つめなおす事により、このテーマを実践して頂きたいと望んでいます。深く自己を省みることにより、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っている事を、理解していただきたいと述べています。人に何かを与えるようとするなら、まず自分自身にそれを与えることであり、自らが抱く希望を理解せずに、人々の望みを理解することはできないと説明しています。

それを踏まえて、3つの強調事項を挙げています。

・第1には「家族」です。私たちが行う奉仕の全ての出発点は家族にあると述べています。

・第2には「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことであると述べています。

・第3には「変化」です。私たちロータリアンは皆、ロータリーを通じて世界を変えたいと望んでおり、世界に望んでいる変化に、まず私たち自身がなる事であると述べています。

「ここの中を見つめよう 博愛を広げるために」。平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、全ての人々のために、さらに喜びのある世界を築いていこうではありませんかと締めくっています。

また、増田一雄ガバナーはRIの長期計画のビジョンの優先項目を挙げ、地区の目標として「地域社会にロータリーを活かそう!!」と掲げています。具体的には、1. 地域社会でのロータリーの存在意義の強調。2. 特に職業奉仕部門を通してのサービスの向上。3. 例会を楽しむ意志の疎通を図れる様、推進。4. 世界も大切だが2500地区が一番大

切なため、2500地区内でロータリーとして協力できるものを調査する。5. ロータリー財團への協力。6. 米山記念奨学会事業への協力。以上の項目を掲げ、その目標に向かって地域ロータリアン自らが汗を流し、地域住民の信頼を得てこそ可能になると述べています。

以上のことを踏まえ、今年度の会長方針を「ロータリーを学び、共に楽しもう」とさせて頂きます。

米山梅吉氏は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。我々はロータリーの例会に出席する権利を持っています。また、それは義務でもあります。ではロータリーの例会とは何なのか、何故例会に参加しなければいけないのか、そもそもロータリーとは何なのか、ロータリーの目的とは何なのか、ロータリーはなぜ誕生したのか、決議23-34は何故大切なのか、そこに見出される二つの奉仕理念はどのようにして出来たのか、職業奉仕とはどういう奉仕なのか、親睦を目的として出発したロータリーでありながら定款や細則に親睦の文字がなかなか見出せないのは何故か。等々考えれば考えるほどたくさんの何故が湧き出できます。

クラブ奉仕と職業奉仕の結びつきは一生を楽しく生きること社会奉仕と職業奉仕の結びつきは一地域の住みよを作りと言われています。

私はこれから的一年間の中で皆さんと共に、ただ例会で食事をして楽しかったではなく、その中でどのようにして有益な情報を効率的に皆さんに提供し、皆さんと共にロータリーを通して自己を見つめて行くかを考え、実行しロータリー運動の質を高める努力をして行きたいと思います。

今年度、帯広ロータリークラブ会長として、次の6つの項目を重点目標に掲げさせて頂きます。

1.ロータリーの歴史を学ぼう。「He profits most who serves best 最も多くの奉仕するもの、最も多く報われる」の職業奉仕理「Service above self 超我的奉仕」の社会奉仕活動理念、四つのテスト、ロータリーの綱領（目的）、決議23-34、例会出席=親睦、Enter to learn, Go forth to serve（入りて学び、出でて奉仕せよ）、等々ロータリーの歴史の中にあるドキュメントを理解することにより、二つの奉仕の理念を通して見える、5代奉仕の活動を実践する運動を進めて行きましょう。

2.親睦を深め奉仕を実践しよう。親睦と奉仕はロータリーライフを支える両輪と言われています。どちらが欠けてもロータリーは存続出来ません。親睦を理解し深め、奉仕活動を実践し、ロータリーを楽しみましょう。

3.職業奉仕を理解しよう。ロータリーは「職業奉仕の団体である」と言わっていました。他の奉仕団体にはない職業奉仕の理念はアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱したものです。この理念を学び、クラブ会員個々の職業に対する倫理観を高め奉仕の哲学を実践して行きましょう。

4.会員の増強をし、退会を防ごう。有名な経済学者のP·F·ドラッガーは「企業の存続は顧客創造の連続である」と説いています。帯広ロータリークラブもまさに会員を増やして行くことにより、存続しクラブの安定化が図られます。そしてまた、ロータリーの哲学がいかに人生に於いて有意義なのかを理解してもらい、ロータリーの親睦の中で退会を防止しましょう。そのためにはロータリー運動とは何かを、地域社会に広く知らしめると共に、門戸を広げ会員の増強を図りましょう。

5.地域社会や国際社会、そして新世代への実践的な奉仕を考えよう。

社会奉仕や国際奉仕、新世代奉仕はロータリーの歴史と共に出来上がってきた奉仕です。ロータリーの目的や奉仕理念を学び、未来に向けた視点で地域社会に還元できることを見つける、グローバルなことやこれからリーダーとなる青少年の育成を考え、これらの奉仕を実践して行きましょう。

6.ロータリー財団、米山記念奨学会へ協力しよう。ロータリーを木で例えると、「職業奉仕」は木の幹に当たります。その幹の「奉仕の理想」という導管を通り社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕という枝や葉に届き、ロータリー財団と言う花を咲かせます。やがて、素晴らしい実が結ばれます。その実がロータリー財団の事業です。

これは、渡辺好政(児島RC)元RC会長代理の講演の中の1節です。

我々の寄付がロータリー財団の中でどのように使われ、どのような事業に反映されているのかを理解し、積極的な支援を図りましょう。そして、奨学生との交流を通して米山記念奨学会への理解を深め、留学の目的の支援をし、国際親善に寄与しましょう。

以上の方針を掲げさせて頂き、会員の皆様と共に1年間ロータリーを学んで行きたいと考えています。

どうか皆様の絶大なる協力の程をお願い申し上げまして、会長就任の挨拶と会長方針に代えさせて頂きます。ありがとうございました。



■会長報告



加藤 維利会長
今日から新年度が始まりましたが我々、大変緊張しております。

まずは、前年度の後藤会長、讃岐幹事始め役員・理事・委員長の皆様1年間ご苦労様でした。

3月11日の東日本大震災から4ヶ月近く経過するにもかかわらず復興・復旧がサッパリ進まないに毎日苛立ちを感じていますが、一昨日の復興担当大臣の発言には呆れてしまいました。昨日の辞任でまた復興が遅れるのではと危惧しています。

ところで、今年度から昨年の規定審議会で5つめの奉仕部門の新世代奉仕が採択され5大奉仕となり帯広RCとしては再び奉仕部門が5つになりました。3年前の曾我元会長年度の時にCLPの関係で社会奉仕部門の中に新世代奉仕が含まれていましたが、今年度から独立した部門となります。すでに後藤年度においてクラブ定款、細則の変更は行われています。

さて、1年半前の年次総会で会長エレクトお受けしてから、あっと言う間に今日の日を迎えることになってしまいました。帯広ロータリークラブ創立70周年の合田年度の幹事を拝命してから、早7年が経ちました。

私も今年度は還暦を迎える年齢になり、平成5年(1993年)1月に入会して18年が経過し19年目に入っている自分に歳月の流れを実感しています。

私の推薦者は当時の帯広神社の大野宮司で、その年度の会長は進藤先生。そして、その年度の会員数は95名でした。同期入会の会員は森武夫元副会長、奥周盛元会長、清水茂彰元会長、和田賢二幹事の4名が同級生ということになります。

入会後は田中パストガバナーをはじめ多くの諸先輩をはじめ会員皆様の友情に支えられてきました。まだまだ会長としては力ではあります、先輩たちから引き継いでいる帯広ロータリークラブの歴史と伝統をしっかりと守り後輩たちに伝えて行く所存でございますので、皆さんのご協力をお願い申し上げまして、会長報告と致します。

■会務報告

和田 賢二幹事

(1)帯広南RC、7月18日(月)は、祝日のため休会と致します。

(2)帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 7月26日(火)午後6時30分

場 所 北の屋台

(3)帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 7月28日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

(4)吉川 昌之会員 7月1日付け 退会承認

木村 裕氏 会員増強委員長

若月 誠君 紹介

推薦者 奥原 宏会員

阿部 幹男君 紹介

推薦者 高橋 勝坦会員

■新入会員紹介



石神 美代 出席副委員長

7月6日例会の報告 会員総数86名 内免除会員5名 出席者数56名

6月22日例会の報告 メーカップを含む出席者数68名 出席率76%

・ニコニコ献金

中島 一晃 親睦活動副委員長

阿部 幹男会員

本日歴史と伝統のある帯広ロータリークラブに入会させていただきました。よろしくお願い致します。

高橋 勝坦会員

阿部 幹男さんの入会の承認を頂きありがとうございました。

若月 誠会員

入会させていただきありがとうございます。

奥原 宏会員

NTT若月氏を紹介させていただきます。宜しくお願い致します。

野村 文吾会員

テーブル100%達成です。2011~12年度初回からすごいことになります。本人ニコニコ3本です。チャンスです。

■ご誕生日祝い



小澤 昌博会員 野村 文吾会員 進藤 敦史会員

■配偶者様ご誕生日祝い

星屋 洋樹会員 國枝 千秋会員 外崎 裕康会員

■ご結婚祝い

飛岡 抗会員 安岡美樹夫会員

■次回プログラム

7月13日「ガバナー補佐公式訪問、決算・監査・予算・役員就任挨拶」

RI第2500地区 第6分区ガバナー補佐 伊藤 克美様(東RC)

ロータリー情報

カルヤン・バネルジー氏

インド出身。インド最大の農薬メーカー、United Phosphorus Limited社の重役であり、同社のバンガラデシュ支社の会長です。また、インド化学工学会とアメリカ化学会のメンバーであるほか、過去にはバビ工業協会の会長と、インド産業同盟のグジャラート支部長を務めた経歴もあります。バビ・ロータリー・クラブの会員であるバネルジー氏は、東南アジア・ポリオ・プラス委員会委員長およびインターナショナル・ポリオ・プラス委員会委員として、世界保健機関(WHO)やユニセフとの会合にも出席した経験があります。



例会日/水曜日 12:30~13:30

例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報

●委員長/安岡美樹夫

高原 淳・田守 由宗・北野 宏明

堀江 威光・辺見 京一

●ホームページアドレス/<http://www.obihiro-rc.co.jp>

↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。